

2014年9月16日

(郵) 要員集配配部

ゆうパケット等の配達状況の調査について

1 趣旨

ゆうパケット創設等により、受箱配達前提のゆうパケット等が増加しています。しかし厚みがあるため受箱に投函出来ず、対面配達や持ち戻りが発生している状況があるため、以下により調査を実施し、実態を把握します。

2 調査対象局

(1) 調査対象局

新潟中央、新発田、長岡、高田、長野東、長野中央、松本南、飯田

(2) 各局の調査対象区数等（通配区）

(ア) 高層マンション、集合住宅の多い地域

2区

(イ) 上記(ア)以外の住宅地域

3区

3 調査日

2014年10月8日(水)から10月10日(金)までの3日間のうち1日

4 調査内容

対象区のゆうパケット・ゆうメールの別で次について調査します。

(1) 持ち出し個数とこのうち厚み3cmを超える個数

(2) 対面配達個数

(3) 宅配ボックス配達個数

(4) 持ち戻り個数とこのうち厚み3cmを超える個数

5 調査用紙

別紙のとおり

調査日: 2014年 月 日() 担当者印 		
_____ 郵便局 _____ 部 _____ 班 _____ 区		
	ゆうパケット	ゆうメール
①持ち出し個数		
(再掲) 3cm超過個数		
②対面配達個数	受箱可(注)	
	受箱不可	
③宅配BOX配達個数		
④持ち戻り個数		
(再掲) 3cm超過個数		

注: 「受箱可」は、郵便受箱配達可能な大きさであるが、事業所の対面配達や書留等対面配達と合わせて配達した場合に記入します。

※ 郵便受箱配達個数 = ① - (②+③+④)